

令和 5 年度

# 決 算 報 告 書

第20期事業年度

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

国立大学法人香川大学

令和5年度 決算報告書

国立大学法人香川大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,182	10,632	449	(注1)
施設整備費補助金	893	1,010	117	(注2)
補助金等収入	731	1,001	269	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	22	22	-	
自己収入	28,734	26,591	△ 2,143	
授業料、入学料及び検定料収入	3,653	3,674	21	(注4)
附属病院収入	24,240	22,397	△ 1,843	(注5)
雑収入	841	520	△ 321	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,674	2,066	392	(注7)
引当金取崩額	255	252	△ 2	(注8)
目的積立金取崩額等	-	443	443	(注9)
計	42,491	42,017	△ 475	
支出				
業務費	38,135	35,908	△ 2,227	
教育研究経費	13,473	13,657	185	(注10)
診療経費	24,663	22,251	△ 2,412	(注11)
施設整備費	915	1,032	117	(注12)
補助金等	470	742	272	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,674	1,895	221	(注14)
長期借入金償還金	1,297	1,292	△ 5	(注15)
計	42,491	40,870	△ 1,622	
収入-支出	-	1,147	1,147	

※上記の金額は、すべて百万円未満四捨五入で表示している。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった国の追加予算における国立大学法人の行う教育研究事業等に伴う運営費交付金が交付されたこと、及び前年度繰越した退職手当及び年俸制導入促進費の執行により、予算金額に比して決算金額が449百万円多額となっている。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった事業の決定に伴う追加予算が交付されたことにより、予算金額に比して決算金額が117百万円多額となっている。
- (注3) 補助金等収入については、獲得額の増加により予算金額に比して決算金額が269百万円多額となっている。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が250百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用している。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍者の増加等により、予算金額に比して決算金額が21百万円多額となっている。
- (注5) 附属病院収入については、病床稼働率が当初見込んでいた数値を下回ったことに伴う収入減により、予算金額に比して決算金額が1,843百万円少額となっている。
- (注6) 雑収入については、当初計上していた過年度の決算剰余金のうち目的積立金にならなかったものを使用しなかったこと等により、予算金額に比して決算金額が321百万円少額となっている。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の受入額の増加により、予算金額に比して決算金額が392百万円多額となっている。
- (注8) 引当金取崩額については、対象額の減少等により、予算金額に比して決算金額が2百万円少額となっている。
- (注9) 目的積立金取崩額等については、目的積立金の事業計画の変更及び前中期目標期間繰越積立金を取り崩したことにより予算金額に比して決算金額が443百万円多額となっている。
- (注10) 教育研究経費については、人件費が増加したこと等により予算金額に比して決算金額が185百万円多額となっている。
- (注11) 診療経費については、医薬品及び医療機器整備、人件費等が減少したことにより予算金額に比して決算金額が2,412百万円少額となっている。
- (注12) 注2に示した理由により、予算金額に比して決算金額が117百万円多額となっている。
- (注13) 注3に示した理由により、予算金額に比して決算金額が272百万円多額となっている。
- (注14) 産学連携等研究経費の受入額の増加に伴う支出額の増加等により、予算金額に比して決算金額が221百万円多額となっている。また、決算額のうち775百万円は前年度以前の収入を財源とした支出となっている。
- (注15) 長期借入金償還金については、借入金利率の見直し等により、予算金額に比して決算金額が5百万円少額となっている。